

【提出様式】 令和6年度 豊島区立学校 学校評価 自己評価表

豊島区立

長崎小

学校

評価対象者数 (人)			
児童・生徒数	保護者数	教職員数	地域の方
159	148	16	19

領域	豊島区教育ビジョン 2019 基本方針等	評価番号	評価項目	年間評価																自己評価概要	学校関係者による評価		次年度に向けた改善策		
				児童・生徒				保護者				地域				教職員					学校関係者評価の意見	標語			
				4	3	2	1	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0	4	3					2	1
I	就学前から小学校・中学校への円滑な接続	I-1	学校は、関係諸機関等(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図ろうとしている。					27%	43%	7%	1%	22%	53%	47%	0%	0%	0%	50%	50%	0%	0%	小中連携や幼保交流会など再開した。それぞれが進学するにあたり。スムーズなスタートをきれるように円滑な接続をすすめていく。	関係諸機関等との連携ができてきている。入学希望が増えていて喜ばしい。	B	幼保交流では多くの園児を招くことができた。園児が学校を楽しみにできる活動を継続していく。
II	確かな学力の育成	II-1	学校は、子どもの学力の定着・向上のために、分かりやすい授業を行っている。	児童・生徒を対象としたアンケート集計表をご参照ください。	35%	55%	5%	3%	1%	44%	56%	0%	0%	0%	60%	40%	0%	0%	タブレットによる宿題や連絡など活用方法も多種多様に行えるようになった。児童自ら、「やってみよう。解いてみたい。」という意欲をもたせるために、日々の授業を充実させる。	宿題やお知らせなどタブレットを活用していることは児童から聞いている。低学年で重い書籍とタブレットの持ち運ぶの負担を考え、軽減する必要がある。	B	毎学期、授業改善プランの見直し、検討、実践のサイクルを重視し、児童の学力向上を目指す。意思伝達力を育てる授業づくりを工夫する。タブレットの有効活用を継続する。			
		II-2	学校は、ICT機器やタブレット端末等の活用により、分かりやすい授業の実施や子どもの学びの意欲の向上に取り組んでいる。		36%	43%	13%	3%	5%	47%	47%	5%	0%	0%	50%	44%	6%	0%	道徳授業地区公開講座「生命尊重」の授業を公開した。「生命」の大切さとともに他者を理解し互いを大切にする心の育成を行っていく。	機器や端末で答える一つではない。いろいろな気持ちや考えを大切に今後も素晴らしい心を育てる教育をしてほしい。	A	道徳科で校内研究を行ってきた。多面的・多角的に考える学習を通して、自己を見つめる児童の育成を目指してきた。来年度は実践意欲の向上につながる指導を行っていく。			
III	豊かな心の育成	III-1	学校は、道徳科の時間を含めた全教育活動をとおり、互いの良さを尊重し合う温かい学校づくりを推進している。		46%	42%	5%	3%	5%	59%	35%	0%	0%	6%	73%	27%	0%	0%	道徳科で校内研究を行ってきた。多面的・多角的に考える学習を通して、自己を見つめる児童の育成を目指してきた。来年度は実践意欲の向上につながる指導を行っていく。	機器や端末で答える一つではない。いろいろな気持ちや考えを大切に今後も素晴らしい心を育てる教育をしてほしい。	A	道徳科で校内研究を行ってきた。多面的・多角的に考える学習を通して、自己を見つめる児童の育成を目指してきた。来年度は実践意欲の向上につながる指導を行っていく。			
		III-2	学校は、生命を大切にできる態度や思いやり、優しい心を育てている。		38%	49%	7%	1%	5%	67%	28%	0%	0%	6%	60%	40%	0%	0%	道徳科で校内研究を行ってきた。多面的・多角的に考える学習を通して、自己を見つめる児童の育成を目指してきた。来年度は実践意欲の向上につながる指導を行っていく。	機器や端末で答える一つではない。いろいろな気持ちや考えを大切に今後も素晴らしい心を育てる教育をしてほしい。	A	道徳科で校内研究を行ってきた。多面的・多角的に考える学習を通して、自己を見つめる児童の育成を目指してきた。来年度は実践意欲の向上につながる指導を行っていく。			
IV	健やかな体の育成	IV-1	学校は、子どもの体力向上や健康の促進に、積極的に取り組んでいる。		30%	53%	11%	0%	5%	56%	33%	6%	0%	6%	44%	38%	19%	0%	縄とび月間、持久走月間などを通して体力作りの実践をすすめた。食育指導についても、継続的に行っていく「がん教育」や薬物乱用防止教室も行い、正しい知識の普及を推進してきた。	給食がおいしい、楽しみだと聞いている。芝生は長崎小の自慢の一つであるが、児童数が増えていることもあり養生期間中の様子も見たい。	B	体力向上の月間については、今後も継続して取り組む。休み時間の活動場所も、校庭・体育館・屋上を計画的に使用して体力向上を図る。食育指導については、年間計画に位置付け計画的に進め、学校便りやホームページで周知する。			
		IV-2	学校は、充実した食育指導を通して、健康教育に取り組んでいる。		41%	46%	4%	0%	9%	44%	50%	0%	0%	6%	44%	50%	6%	0%	月に1回のいじめ防止対策委員会を実施し、全校でトラブル等いじめの原因となる状態からの把握をしてきた。特別支援教育については、ひまわり教室、五組について、2年生を対象に啓発授業を行ってきた。保護者に対しても特別支援教育について周知する必要がある。	運動会や学習発表会など児童が積極的に協力している姿が素晴らしい。いじめに関しては、大切なことなので充実させる必要がある。いじめ未然防止のため今後も情報共有に協力していきたい。	A	ふれあいデーには、どの教職員にも相談できる体制や児童一人一人がもつ困り事をいつでも誰にでも相談できる環境を整えた。デリケートな問題で発信は難しい。月1回の委員会やアンケート・相談等定期的に児童の様子を把握する機会を設け、いじめの未然防止を心がけ、関係児童の保護者との連絡を密にする。			
V	一人一人を大切に教育の推進	V-1	学校は、いじめ防止等(未然防止、早期発見、早期対応)に学校全体で組織的に対応している。		24%	45%	8%	1%	22%	47%	47%	5%	0%	0%	75%	25%	0%	0%	月に1回のいじめ防止対策委員会を実施し、全校でトラブル等いじめの原因となる状態からの把握をしてきた。特別支援教育については、ひまわり教室、五組について、2年生を対象に啓発授業を行ってきた。保護者に対しても特別支援教育について周知する必要がある。	運動会や学習発表会など児童が積極的に協力している姿が素晴らしい。いじめに関しては、大切なことなので充実させる必要がある。いじめ未然防止のため今後も情報共有に協力していきたい。	A	ふれあいデーには、どの教職員にも相談できる体制や児童一人一人がもつ困り事をいつでも誰にでも相談できる環境を整えた。デリケートな問題で発信は難しい。月1回の委員会やアンケート・相談等定期的に児童の様子を把握する機会を設け、いじめの未然防止を心がけ、関係児童の保護者との連絡を密にする。			
		V-2	学校は、子ども達の気持ちを理解するために、一人一人に寄り添いながら、指導を行っている。		29%	46%	5%	7%	14%	47%	42%	5%	0%	5%	75%	25%	0%	0%	月に1回のいじめ防止対策委員会を実施し、全校でトラブル等いじめの原因となる状態からの把握をしてきた。特別支援教育については、ひまわり教室、五組について、2年生を対象に啓発授業を行ってきた。保護者に対しても特別支援教育について周知する必要がある。	運動会や学習発表会など児童が積極的に協力している姿が素晴らしい。いじめに関しては、大切なことなので充実させる必要がある。いじめ未然防止のため今後も情報共有に協力していきたい。	A	ふれあいデーには、どの教職員にも相談できる体制や児童一人一人がもつ困り事をいつでも誰にでも相談できる環境を整えた。デリケートな問題で発信は難しい。月1回の委員会やアンケート・相談等定期的に児童の様子を把握する機会を設け、いじめの未然防止を心がけ、関係児童の保護者との連絡を密にする。			
		V-3	学校は、特別支援教育や発達障害等に関して、一人一人に適切な指導を行っている。		31%	33%	3%	2%	30%	47%	53%	0%	0%	0%	63%	38%	0%	0%	月に1回のいじめ防止対策委員会を実施し、全校でトラブル等いじめの原因となる状態からの把握をしてきた。特別支援教育については、ひまわり教室、五組について、2年生を対象に啓発授業を行ってきた。保護者に対しても特別支援教育について周知する必要がある。	運動会や学習発表会など児童が積極的に協力している姿が素晴らしい。いじめに関しては、大切なことなので充実させる必要がある。いじめ未然防止のため今後も情報共有に協力していきたい。	A	ふれあいデーには、どの教職員にも相談できる体制や児童一人一人がもつ困り事をいつでも誰にでも相談できる環境を整えた。デリケートな問題で発信は難しい。月1回の委員会やアンケート・相談等定期的に児童の様子を把握する機会を設け、いじめの未然防止を心がけ、関係児童の保護者との連絡を密にする。			
VI	教師力の向上と魅力ある学校づくり	VI-1	学校は秩序があり、子ども達は落ち着いて学校生活を送っている。		34%	55%	7%	1%	2%	61%	33%	0%	0%	6%	63%	38%	0%	0%	児童がおとなしく、素直なところがよいところである。委員会活動では、児童の意欲の高まりが見られ、高学年の活躍の場となった。今後は主体的に考えたり行動したりする力を育成する必要がある。	6年生がまとまっていたのは、先生方の指導の賜である。引き継ぐ5年生、下級生も楽しみである。	B	特別活動を中心に、児童が主体的に活動できる場を計画的に設定し、児童が活躍できる場を多く設け、自己肯定感の高い児童を育てる。			
		VI-2	学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かしている。	26%	47%	9%	2%	16%	61%	33%	0%	0%	6%	69%	31%	0%	0%	児童がおとなしく、素直なところがよいところである。委員会活動では、児童の意欲の高まりが見られ、高学年の活躍の場となった。今後は主体的に考えたり行動したりする力を育成する必要がある。	6年生がまとまっていたのは、先生方の指導の賜である。引き継ぐ5年生、下級生も楽しみである。	B	特別活動を中心に、児童が主体的に活動できる場を計画的に設定し、児童が活躍できる場を多く設け、自己肯定感の高い児童を育てる。				
VII	家庭・地域との連携	VII-1	学校は、学校や子ども達の様子を、学校だよりやホームページ、学校公開等によって、分かりやすく伝えている。	38%	48%	8%	0%	6%	68%	26%	5%	0%	0%	44%	56%	0%	0%	ホームページの更新や公開をすることで、学校の子供の様子を伝えることができた。子育てに関する迷いや悩みも多いため、民生委員・児童委員とも連携を深めていきたい。	積極的に地域や民生委員との連携を深める努力は素晴らしい。様々なツールによって地域も児童の様子を知ることができる。	B	活躍の様子をホームページやお便りや発信していく。地域や保護者と協力しながら、子供を伸ばしていく。学校生活での活動の様子を継続的にchromebookでも発信していく。				
		VII-2	学校は、家庭や地域と協力しながら子どもを教育している。	34%	51%	7%	0%	7%	74%	26%	0%	0%	0%	50%	50%	0%	0%	ホームページの更新や公開をすることで、学校の子供の様子を伝えることができた。子育てに関する迷いや悩みも多いため、民生委員・児童委員とも連携を深めていきたい。	積極的に地域や民生委員との連携を深める努力は素晴らしい。様々なツールによって地域も児童の様子を知ることができる。	B	活躍の様子をホームページやお便りや発信していく。地域や保護者と協力しながら、子供を伸ばしていく。学校生活での活動の様子を継続的にchromebookでも発信していく。				
VIII	特色ある教育活動	VIII-1	学校は、地域文化の継承を基本としたSDGsへの取り組みに関する教育を推進している。	41%	41%	3%	1%	14%	72%	28%	0%	0%	0%	50%	44%	6%	0%	本校の特徴である長崎獅子舞をSDGsの中核において取り組む方向が定まりよかった。	こころまつりなど大きなイベントでの長崎獅子舞は素晴らしい。地域愛を育むために伝統や140年の歴史を大切にしていただけありがたい。	B	総合的な時間に長崎獅子舞を位置付け、系統的に学習を進め、大好きな町長崎地域の伝統文化の担い手を育てていく。				
IX	働き方改革	IX-1	学校は、校務支援システムの活用や「チーム学校」を意識した業務分担等により、組織的に業務の効率化・最適化を目指して取り組んでいる。												38%	50%	13%	0%	会議の精選や校務支援システムを使って会議時間は短縮を図っている。しかし、職員の共通理解ができていないこともあるため、会議については、検討が必要である。スクールサポートスタッフを活用できている。	職員が若くなっているとパワーや熱意を感じる。教育の時間を削るのは申し訳ないが、地域と職員との信頼関係が深められたら、情報共有・情報提供ができると感じる。	B	SSSや学習支援員など多くの人の配置や仕事の割り振りをして、働き方改革につなげていく。教師の役割と効率化について内容を精査し、働き方改革を継続していく。			

※学校関係者による評価の評語は、自己評価結果について以下の視点で行う。 A 評価は妥当である B 評価はおおむね妥当である C 評価は妥当ではない D 評価方法を見直す必要がある